

平成30年度 文学部 第2回「学生・教員懇談会」

日 時：平成30年11月15日（木）12:10～12:50

場 所：法政経学部棟2階 法政経学部第一会議室

出席者：学部長、評議員、各コース/学科長、学生委員長、教務委員長、教務委員、学生委員、留学生委員（以上、教員13名）、学生（15名）、人文社会科学系事務長、学務グループ職員（3名）

陪席者：教育企画課職員（1名）

懇談会テーマ「授業外学修の充実について」

1. 「授業外学修の充実」方法についての学部の意見

- 1) 共通基礎科目については、語学や文献、史・資料読解の基礎的な能力習得のために、予習・復習を中心とする課題は必須と考える。
- 2) 専門の講義や演習は、分野ごとの学問の性格、授業内容が異なるので、シラバスに「授業外学修」の方法を詳しく書き、また初回ガイダンスをはじめ授業内に情報を伝え、アドバイスをおこなうよう努める。
- 3) ムードルを活用する。
- 4) 千葉大学文学部では「学位授与の方針」（ディプロマポリシー）に明記するように、学生の「自由・自立の精神」を尊重し、地球規模で、また地域において社会と積極的にかかわりながら、広い視野をもって自らの専門的能力や普遍的教養を役立てることのできる人材の育成を目指している。そのための学修は、必ずしも登録した科目の予習と復習に限られてはいない。「授業外学修」の範囲を広げ、その意義を学生と共有し、多様な学修機会を紹介、導入するようにつとめる。

2. 学生の皆さんへの質問

- ① 皆さんは「授業外学修」として、日ごろどのような取り組みをしていますか。毎回の授業の予習・復習として、履修する科目にかかわっての学習内容、方法について教えてください。教員からの情報、アドバイスの中で、有益なもの、有効な方法があれば、それについても教えてください。また、自らの学問的関心を広げ、深めるためにおこなっていること、「学修」の一環と意識して取り組んでいる活動があれば教えてください。
- ② 博物館や美術館、資料館への見学、あるいはさまざまなフィールドワークやワークショップに教員が誘うことがありますが、そのような機会への参加をどのように考えますか。参加しにくい理由がある、あるいは参加したいが何らかの理由で難しいなど、率直なご意見をお寄せください。
- ③ ムードルの活用方法、使い勝手について。また、図書館のパスファインダー等、授業外学修に役立つと思われるコンテンツについて、ご意見があればお寄せください。

* 〈以上は、事前に学生に向けて発信した、テーマ「授業外学修の充実について」についての文書〉

懇談会テーマについて学生からの意見

* 上記の「2.学生の皆さんへの質問」ごとに、意見をまとめる。

①授業外学修への取り組みについて

- ・教員からのアドバイスや勧められた文献、資料などを参考にして、予習復習を行っている。アドバイスや提示された資料などは、研究や課題を進めるのに役立っている。
- ・教員からの課題や授業の進度に沿って、常時、授業外学修を行っている。
- ・課題以外における学修があまりなされていない。

→おおむね、教員からのアドバイスや出された課題などに基づいての授業外学修は充実しているようである。

②博物館やフィールドワークなどへの参加について

- ・参加については興味があり、意義のあるものだと思う。
- ・見学やフィールドワークの参加が必修ならば、交通費や参加費の補助が出るとよい。
- ・授業と重なって、せっかくの機会が生かせないことがある。

→興味関心や意義・効果を認めつつも、日程や時間などの都合で参加できないことがあるようである。また、費用面の補助があるとよいという意見が複数あった。

③ムードルや図書館などの活用について

- ・図書館に必要な図書を多く入れてもらいたい。図書を推薦・要望するシステムを活用したいが、その方法が周知されていない。
- ・情報検索や資料収集の方法を学びたい。

→図書館にはパスファインダーや資料収集のアドバイスをしてくれる学修支援態勢があるので、その周知に努めたい。

* 関心を広げていくための仕組み（各教員による文献の提示、資料へのアクセスの方法など）を積極的に使うように促したい。

* 出された課題以外に、関心のあるものを調べて議論したり、博物館・美術館などに足を運んだりすることが深い学修につながっていくはずである。

その他意見

○成績開示について

開示の時期をなるべく早くしてもらいたい。ポータルでも見られるとよい。

→文学部では紙での配付が可能であるため、従来どおり紙で配付していた。今後、ポータルでのシステム構築を含めて検討していきたい（ただし、時間をかけてシステム作業を行う必要があり、すぐには実現できない）。

○教員補充について

欠員となっている分野の教員の補充をしてもらいたい。

→大学本部に継続的に働きかける。

○文学部棟の夜間・休日の使用について

学外に持ち出せないデータの分析があるため、夜間・休日も文学部棟の研究室を使用したいが、手続きが煩瑣である。

→セキュリティ上、手続きを行ってカードキーを借りる現在の方法で使用してもらいたい。

○授業の難易度への対応について

「～基礎」という授業にもかかわらず、内容が難しい。ムードルに予め授業資料を載せるなどしてほしい。

→教員側も工夫するように努める。

○海外語学研修について

海外語学研修がより充実しているとよい（例えばドイツ語）。

→なかなか難しいが、情報を集めたい。

学生参画会議の参加者について

参加者の中から１名、全学の学生参画会議で懇談会の内容を報告してもらうこととなった。

日程：１２月１７日（月）１４：３０～１６：００

場所：アカデミック・リンク・センター プレゼンテーションスペース